

組合員のみなさん、新年明けまして おめでとうございます

宮教組では組織運営と組織財政の見直しに伴い、本部、総支部、地協、分会の組織体制を維持しつつ、新たな本部体制のもと3総支部体制による宮教組運動に取り組んできました。

各分会への連絡や参加者集約などを本部に一本化するため、宮教組LINE公式アカウントを活用し、組合員のみなさんの協力のもと運動を進めてきました。学校のエアコン設置状況や高校推薦制の見直しなど、本部からの問い合わせに対して多くの職場から情報を送っていただき、交渉につなげ

ることができました。あらためてお礼と感謝を申し上げます。

2021 年を振り返ってみると、新型コロナウイルス感染症の感染が続いた1年でした。6月下旬から9月にかけて第5波が起こり、医療の逼迫や生活の制限が続きました。学校現場でも、毎朝行われる児童・生徒の健康状態の把握や校内の消毒作業、3密を避けるための常時指導などにより、教職員の負担が増加しました。11月には県内の感染状況は落ち着いてきたかに見えましたが、「オミクロン株」の出現により予断を許さない状況になっています。

また、10月には岸田新内閣が発足し、衆

議院議員選挙が実施されました。自公政権の過半数を許したものの、宮崎選挙区では1区で渡辺創、2区では長友慎治（九州比例）の当選を勝ち取ることができました。

学校現場では、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策が続く中、「GIGAスクール構想」や「小学校高学年の一部教科担任制」により、これまでになかった新たな業務が加わりました。その中で、一人一台端末の不足やICT教育担当者の負担増等の課題、専科教員の加配がない中で教科担任制ではなく交換授業が行われている実態が拳がっています。これらにより、教職員の長時間労働が増加しています。

2022 年は、昨年度から実施している教員採用試験対策講座を1次試験から2次試験まで開催します。また、ライフプランセミナー（仮称）を福利厚生団体と連携して学校現場で実施することを計画しています。それぞれの職場で未加入者のみなさんへ声かけをお願いします。

7月には、参議院議員選挙が行われます。日政連予定候補者の古賀ちかげさん（福岡県教職員組合出身）の必勝を期してとりくみを進めます。学校現場の声を国会に届けるためにも、組合員のみなさんの支援をお願いします。

私たちは、これからも諸課題の解決に向

けて粘り強いとりくみを進めていかなければなりません。そのためには、宮教組のこれまでのとりくみを次の世代にしっかりと引き継いでいくための宮教組運動を創り上げていかなければなりません。

教職員一人ひとりがやりがいをもって、安心して働ける職場づくりが今こそ必要です。子どもたちのゆたかな学びを保障し、教職員一人ひとりの生命と健康を守るためにも、組織拡大を進めることが重要です。職場の同僚に組合の必要性や意義を周知するため、宮教組LINE公式アカウント「こんにちは宮教組です」の登録を呼びかけていきましょう。

最後になりましたが、今年も宮教組運動へのご協力をお願いしますとともに、みなさんのご多幸とご健康をお祈り申し上げます。

宮崎県教職員組合

執行委員長 長友利貴

※宮教組情報 2022年1月1日号に掲載